

先駆けを！

夢の実現に向けて！

学校報

望 洋

東海大学付属市原望洋高等学校
編集：メディアセンター

2021年3月18日 第142号

総括 2020年度 3学期

第35回 卒業証書授与式を挙行

3月6日(土)、2020年度 第35回卒業証書授与式を挙行了しました。コロナ感染症対策として、卒業生と本校教職員のみの出席で、規模を縮小して短時間での式典を行いました。例年であれば、卒業生一人ひとりに校長が卒業証書を手渡しますが今年度は代表一人、総長賞・生徒会功労賞・三カ年皆勤賞の表彰と、校長告辞、送辞、答辞のみでした。建学の歌・校歌も静聴しつつ心の中で斉唱しました。短い式典ではありましたが、卒業生・教職員が一体となって、厳粛な中にも暖かな雰囲気の中で式典をつくりあげました。卒業生の皆さん、これからのますますの活躍に期待しています。Congratulations!!



2020年度 第35回 卒業証書授与式 答辞
卒業生代表 3年7組 佐藤 朱音

答 辞

やわらいだ日差しがあふれだし、春の訪れを感じるようになりました。本日は、新型コロナウイルス感染防止に伴う「緊急事態宣言」の中、先生方をはじめ本校後援会の方々、そして、多くの関係者の皆様方のお力添えのもと、松前記念講堂にて、これまでにない特別な卒業証書授与式を挙行していただき、卒業生を代表して御礼申し上げます。

三年前の四月、真新しい制服に身を包み、新たに始まる高校生活に、大きな期待に胸を膨らませながら、ここ、東海大学付属市原望洋高等学校に入学した日のことを、今でも鮮明に覚えています。

静まり返っていた教室、顔も名前も分からず、友人ができるのかと心配になりました。しかし、入学後、間もなく行われた望洋研修で、集団行動やグループ討議を重ねていく中、いつの間にか笑顔があふれ出し、まとまりのあるクラスへとなっていました。その研修での先生方からの講話は、「若き日に、汝の思想を培え」のもと、どのように高校生活を送るべきなのかを考えるきっかけとなり、それぞれが明確な目標を掲げるようになりました。

二学年。初めての人工芝で挑んだ体育祭。青空に緑の芝生が鮮やかに映え、校長先生の力強い「がんばれ」という声が、グラウンドに響きわたりました。私たちは、その声に応えるように競技に臨み、物事に全力で取り組んだ時の達成感は、何ものにも代えがたいことと改めて感じました。

また、建学の精神「若き日に 汝の智能を磨け」のもと取り組んだ、日々の授業。先生方の熱意が伝わり、私たちも懸命に勉学に勤めました。多くの知識や、社会で生きていくために必要な力を育てていただきました。

夏が過ぎ部活動では、先輩方が引退され、私たちが主体となり、責任感が芽生えました。その一方で、プレッシャーに押しつぶされそうになったこともあり、うまく行かず悩み、涙を流したこともありました。そんな時、支えてくれたのは、同じ目標を志す仲間たちでした。共に辛いことを乗り越え、喜びを分かち合った仲間の励ましの言葉に何度となく助けられ、深い絆が芽生えました。

そして、気づけば最上級生。全てのことが「集大成」となるはずでしたが休校をよぎなくされ、分散登校に始まり大会中止など、さまざまなことが制限されてしまいました。そのような社会情勢の中で、“Step to the future”をテーマに開催された建学祭。クラス、部活動ごとに仲間と力を合わせ動画を作製し、電子黒板に写し出されるオリジナリティあふれる動画に、全校生徒が釘付けとなった二日間でした。例年とは異なった形ではありましたが、生徒会の方々ののおかげで素敵な思い出のページを増やすことができました。

私たちが、高校生活で一番の楽しみにしていた沖縄への研修旅行。新型コロナウイルスの影響により、中止となってしまいました。

「なんくるないさ」かつて沖縄では、地上戦が行われ、多くの尊い命が犠牲となりました。そんな時、沖縄の人々は、この言葉を心の支えに、苦難に立ち向かっていったことを学びました。

今、私たちは、コロナ禍という苦境に直面しています。そのような中で、先生方は、私たちのためにクラスマッチなどの行事を企画してくださり、「不可能」だと思われていた物事も、角度を変えて見れば「可能」に変えられるということを、先生方が教えてくださったように感じています。この先にあるどんな試練も、諸先生方の教えと建学の精神である「若き日に、汝の希望を星につなげ」を胸に刻み、常に希望を持ち未来を切り開いてまいります。

「なんくるないさ」

五年後、十年後、私たちの成長した姿を、見ていただきたいと思います。沖縄の地で、同窓会をいたしましょう。

在校生の皆さん、今まで私たちを支えてくださりありがとうございます。時には挫折しそうなこともあるかと思いますが、そのような時には、周りを見渡してください。この学校には、素敵な仲間と生徒のことを第一に考えてくださる諸先生方がいます。三年間は「光陰矢の如し」です。悔いの残らぬよう、自分自身の持っている力を最大限に発揮して、高校生活を謳歌し、市原望洋高校の伝統を引き継いで行って欲しいと思います。

いつも私たちをそばで支えてくださった先生方。進路指導をはじめさまざまなことに親身になって相談に乗ってくださいました。そのおかげで、迷いなく前に進むことができます。

また、十八年間、私たちのことを一番近くで見守ってくれた家族。素直になれず困らせたこともありました。しかし、どんな時でも真正面から向かい合い、寄り添い、正しい道へと導いてくれたことで、今日という「卒業」の日を迎えることができます。

私たちは、四月から、それぞれの道へと歩んでまいります。先生方や友との別れは辛いものではありますが、切磋琢磨して互いに高め合った友人、厳しさの中にも愛情いっぱいにご指導してくださった先生方のことは、決して忘れることはありません。悩み、立ち止まりそうになった時には、この学校で学んだことを糧として努力し、何事にも挑戦していくことを誓います。

結びに、私たちを支えてくださいました全ての方々に、深く感謝申し上げます。そして、卒業後も変わらぬご指導を賜りますように、何卒よろしくお願い申し上げます。母校となります、東海大学付属市原望洋高等学校の益々のご発展をお祈り申し上げ答辞といたします。

二〇二一年 三月 六日

第三十五回 卒業生代表 佐藤 朱音

各賞受賞

総長賞	3年8組 今林 幹太
生徒会功労賞	3年8組 大谷 陵朔
千葉県知事賞	3年7組 林 美月
千葉県私立中学高等学校協会賞	3年6組 高橋 健瑠

式典代表者

答辞	3年7組 佐藤 朱音
送辞・生徒会記念品贈呈者	2年8組 丸島 桃香
卒業記念品贈呈者	3年1組 吉田 衣織
生徒会記念品受領者	3年4組 篠原 弘馨
同窓会資料受領者	3年5組 濱野 航亮



クラスマッチ（3年）を実施

2月10日（水）、コロナウイルス感染防止に配慮しながら、第3学年でクラスマッチを実施しました。高校生活最後のクラスマッチに、クラス全員全力で取り組み、にこやかな雰囲気の中にも優勝目指して、熱い戦いが繰り広げられました。種目は、大縄跳び、綱引き、ドッジボールの3種目でした。大縄跳びでは、「せいのに」の掛け声のもと、チームの心を1つにしてタイミングよく跳び、跳躍数を伸ばしていきましました。綱引きでは、クラスの力を結集して全身を使って綱を引っ張り、仲間との協力の大切さを再確認することができました。卒業まで残り1カ月を切りましたが、高校生活最後により思い出ができました。



【結果】大縄跳び：優勝1組 綱引き：優勝3組 ドッジボール：優勝 男子5組 女子3・4組

第 19 回定期演奏会を開催（吹奏楽部）

12月26日（土）、「吹奏楽部第19回定期演奏会」を開催しました。今年は新型コロナウイルスの影響により、演奏会の開催が危ぶまれましたが、演奏規模の縮小、来場者限定及び時間短縮のもとに開催いたしました。入場者の座席も指定し距離をとって着席いただきました。演奏会は第1部「シンフォニック・ステージ」で4曲、第2部「ポップス・ステージ」で4曲、拍手に押されてアンコールで1曲の演奏でした。今年の演奏会場は、いつも以上に客席からの温かい拍手で締めくくられました。



「第19回定期演奏会を終えて」

吹奏楽部顧問 湯川千鶴子

今年度、新型コロナ感染の影響を受けて部員達の生活は一変しました。本来でしたら来場して下さった皆様とともに、年の締めくくりと、感謝の気持ちを持って演奏会が行われるはずでしたが、いつもとは違うものになりました。吹奏楽コンクールをはじめ多くの演奏会や大会が中止となり、目標をどこに定めればいいのか不安と迷いの中での練習でした。しかし、入場制限はありましたが、保護者の前で演奏することができ、2020年12月26日（土）に第19回定期演奏会を開催することができました。演奏曲目を減らし、演奏時間もいつもより短いものになりましたが、演奏できる喜びと感謝の気持ちを音楽で表現することができました。今後も先が見えない所もありますが、今できることを一つ一つ大切に、生徒と一緒に良い音で良い音楽が演奏できるように頑張っていこうと思います。

「第19回定期演奏会を開催」

吹奏楽部部长 3年4組 鎌田春花

12月26日（土）、市原市市民会館にて第19回定期演奏会を開催しました。今年度は、コロナ禍で夏の吹奏楽コンクールやサマーコンサート、依頼演奏などが中止となりました。思うように活動ができない不安や悔しい気持ちもありました。しかし、私たちは集大成である定期演奏会を成功させるために練習の改善点を見つけ、意見を出し合い、日々努力しました。今年度は、第1部～シンフォニック・ステージ～、第2部～ポップス・ステージ～の2部構成で行いました。そして、トランペット奏者の古土井友輝先生を迎え、全9曲を演奏しました。練習の成果を発揮し、感謝の気持ちを伝えることができました。成功に導いてくださった皆様に感謝申し上げます。

本校生徒が特許を取得！！

2年8組の丸島桃香さんが「蚊の誘引方法及び誘引装置」で特許を取得しました。2019年度の東海大学学園オリンピック知的財産部門で優秀賞に選出され、同年度の独立行政法人工業所有権情報・研修館によるパテントコンテストにも応募、特許出願支援対象の優秀賞を獲得しました。弁理士さんのご指導もいただき、2020年3月に特許を出願、12月に特許として登録されました。丸島さんの活躍に期待します。



「特許を取得して」

2年8組 丸島桃香

私が今回の作品で特許を取得したきっかけは、1年生の時に行った学園オリンピックです。そこで、事前に考えてきた作品を他の参加者や大学の先生方に見て頂き、意見をもらうワークショップを行ったことで、知的財産の大切さや重要性を学び、自分の作品で特許を取得したいと思いました。特許取得までの道のりで大変だったことは、自分のアイデアを言葉にして他の人に分かりやすく伝えることです。頭の中では分かっていたけど、他の人にそれを理解してもらうことがとても難しかったです。しかし、今回特許出願したおかげで、他の人の視点に立って物事を考える力が身につきました。その力を生かして、これからの学校生活を充実させていきたいです。

2 年生対象生徒指導部講話を実施

2月8日（月）、2年生を対象に「DV」や「暴力」とは何かについて考えるきっかけとして、生徒指導部講話を実施しました。NPO 法人女性ネット Sayー Say から講師をお迎えして、「親しい間柄にある相手の人権を尊重し、互いに尊敬しあえる関係について学ぶこと」を目的とした講話です。生徒たちは、各教室の電子黒板に LIVE 配信された講話に真剣な眼差しを向けていました。終了後は「現実に起こるかも…」「相手のことを考えることが大切」などの感想が聞かれました。



2 年 6 組 井上梨帆

「DV 講話を聞いて」

今回、DV についての講話を聴き、DV がとても身近にあり、気をつけなくてはいけないものだと改めて感じました。親から子ども、恋人への暴力などは、あってはならないものだと思います、それらのことが現実に起きていることにとても悲しくなりました。もし、私の周りで今回聞いたような出来事が起こっていたら、適切な対処を行い、苦しんでいる人達を助けていきたいと思います。この世界から DV がなくなってくれることを望みます。

「卒業生からのメッセージ」を実施

2月13日（土）、2年生を対象に、3名の卒業生を講師にお迎えして在校生へのメッセージをいただきました。今回は、新型コロナウイルスの影響を考慮し、卒業生には ZOOM を利用して教室の電子黒板で参加していただきました。卒業生の相川遼さん・小沢海来さん・藤澤彰太さんは、ともに本校を 2018 年度に卒業し、現在、東海大学の 2 年に在籍しています。進路選択について、希望の進路実現に向けて何をすべきかなど、この時期の生徒にとって大変意義のある内容となりました。



2 年 7 組 前里大陸

「卒業生からの話を聞いて」

今回、卒業生の方々から話を聞いて、これから行われる学年末試験や基礎学力試験に向けての勉強方法などが分かったので、今日から実践していこうと思いました。また、学科選択や、進路について考える時の大事な事や、気をつけた方がいい事についてもアドバイスを頂いたので、生かしていきたいと思いました。今回のように直接卒業生の方々から話を聞くことはあまりないので、貴重な時間を過ごせたと思います。自分の将来に向かって頑張ります。

3 年生対象生徒指導部講話を実施

2月19日（金）、登校日の3年生を対象に薬物乱用防止講話を実施しました。毎年、卒業を間近に控えた3年生に対し、薬物の恐ろしさを理解することを目的に実施しています。今年は、市原市青少年指導センターから大西輝様、内房地区少年センターから菊地真由子様を講師にお迎えし、各教室の電子黒板を利用して LIVE 配信での講話となりました。生徒からは「薬物は怖い」「一人暮らしになるので気をつけなければ」などの感想が聞かれました。



3 年 7 組 渡部幸耀

「薬物乱用防止教室を受けて」

私は小学校・中学校や保健の授業などで、薬物について学習していましたが、薬物乱用防止教室を通じて改めて薬物の怖さを感じました。薬物を使用している人の中には、大人だけではなく同年代の人がいるというのは、注意が必要だと思いました。また、近年はスマートフォンや SNS を利用しているケースも増えているそうなので、間違った情報や知識に騙されないようにしたいです。薬物にはたくさんの種類や形があって、それぞれ作用する効果は違うことがよく分かりました。それぞれの薬物で体に異変が出てしまうと、回復することはできないこと、1 度使用すると耐性や依存性ができることは怖いと思いました。薬物の誘いがもしあってもしっかりと断りたいです。